



会長 橋本八右衛門 青少年奉仕 正部家光彦
副会長 妻神 和憲 幹事 小田山紀暢
クラブ奉仕 石橋 信雄 会計 岡崎 孝文
会長エレクト 山村 和芳 会場監督 鶴飼 寿栄
職業奉仕 小井田和哉 直前会長 紺野 広
社会奉仕 深澤 隆 副幹事 中村 稔彦
国際奉仕 深澤 隆 会計補佐 浜谷 英幸

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 宮下 悟 同副委員長 峯 正一
同委員 松林 拓司 同委員 上村 奉樹

国際ロータリーのテーマ — 2024~25 — 八戸ロータリークラブのテーマ

ロータリーのマジック

学ぼう、つながろう、そして一歩前へ!

~個人を磨くとクラブも輝く!再構築ロータリー~

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

八戸ロータリークラブ会長 橋本 八右衛門

6 月 は ロータリー 親睦 活動 月間 です

第3354回例会 2025.5.28

▶ゲスト 八戸クラブ名誉会員

熊谷雄一八戸市長

お祝いをいただきましたので、ニコニコに入れさせていただきます。ありがとうございました。

会長要件 橋本八右衛門 会長



先週末25日は小菊荘で七夕飾りのイベントを開催しました。少数精鋭で参加しましたが、ご家族の皆様には積極的に参加いただき盛り上がっていました。参加くださいました皆さま、本当にありがとうございました。6月28日にはユートピアの会の皆さまと七夕飾りのイベントがありますので、こちらにご参加予定の皆さま、引き続きよろしく願いいたします。

本日はロータリーのネタよりも日本のネタです。昨今大騒ぎの令和の米騒動ですが、以前も10月くらいにコメ価格の話題ということで会長要件で話をさせていただきました。そのときは価格がどうなるか、落ち着くのか落ち着かないのかという感じで話をさせていた

だきましたが、結局、皆さんお分かりの通り、騒動は収まらず続いております。備蓄米の放出や店頭価格がどれだけ推移しているのか、それに伴う政府の対応、失言による農林水産大臣の交代などまさにドタバタ劇です。本当にこうやって注目されることによって流通ルート、仕組みが露出した感じになって、これから期待はできるところかな、そういうふうに思っています。

日本酒業界にとってははいよいよ本当に瀬戸際、死活問題ということで直面しています。原料米の高騰ということで、酒作り用の酒米は確実に1.5倍~2倍になる状態です。さらに経済酒(安いお酒)やわれわれも最後にかけて米として大量に使う加工用米という取得以外に使われる用途で安い値段で生産されている計画外のお米は安い値段でその業界用に作っていただいています。農家の方はこれを作ると交付金がもらえて、今までは普通にするのと同じくらいの価格帯で収益が出ていたのですが、これも確実に飯米と同じような金額までアップすることが決まっています。

ちなみに日本酒1升瓶あたり1.5キロのお米を使います。原価にすると1升瓶あたりで

は2割ぐらいの原価を占めています。これが確実に4割になるとい話になるとたいへんだということになります。このような状況であるがゆえに、今年度産の原料米確保というところで原料米不足の危機を迎えている状況です。まさに“青田買い”です。農家にはいくらで買うという表示がきている話題が取り上げられていますし、どういう動きになるかわかりません。

蔵元は酒造組合、集荷業者と契約をして必要数量を毎年確保していますが、そちらの方には何とか種の段階でその数量分の種を買っていただいたという報告を全農や集荷業者から連絡をいただいています。が、これだけ飯米が高かったり、欲しい欲しいという人たちがいると、種は買ったけれど飯米を作ろうかという農家さんも多数出てくるだろうと予測しています。

そうなる結果としてお願いした数量が入ってこないことになりますので、なかなか厳しいだろう。足りない分のお米は当然、飯米用のお米を使わざるを得ないことになりますから、さらに高値になってしまうということです。そのまま価格転嫁すると皆さんに買っていただけないので、どのくらいで抑えるかということでひっ迫する状況が見えています。

このような状態に国もただ手をこまねいている状況ではなく、国税庁のほうからも重点支援地方交付金を酒蔵向けに使ってくれということで、各県には働きかけをしていただいています。なので、われわれ業界とすると酒蔵もそうですが、今ピックアップされているのは農家さんの窮状も見えてきていますので、そこら辺をバランスのいいところで今後の持続的な酒造り、持続的な米作りを目指してどこかで調整できないかと思っている次第です。

その中でロータリーの皆様はどうやって応

援していただけるかということ、いつものパターンですが、日本酒をいっぱい買って飲んでいただくことに尽きると思います。なので、八戸クラブさんは日本酒大好きなクラブさんですので、ぜひ引き続き県産酒、八鶴、如空、桃川をよろしく願います。7月4日(金)にマチニワで青森の地酒サマーフェスを組合主催でやりますので、ぜひ会社帰りにお立ち寄りいただければと思います。前売りもあります。どうぞよろしく願います。

幹事報告 小田山紀暢 幹事



○委員会活動報告について
来週6月4日の例会で委員会活動報告を行いますので、現年度の委員長さんをご準備くださいますようお願いいたします。

○5/30(金)は事務局お休みです。

委員会報告

親睦・会場委員会

島守英樹委員



○ニコニコボックスの報告

・誕生祝

小石川朋弘・村井 達
田村礼吉さん

・奥様誕生祝

道尻誠助・堤 幸治
澤藤孝之さん

・結婚記念日 渡辺 孝さん

橋本八右衛門・石橋信雄 } 熊谷市長、お忙し
小田山紀暢・道尻誠助 } いろいろありがと
夏川戸 齊さん } うございます。

宮下 悟さん 6月は盛り上がりまして行きま
しょう！



ひと・産業・文化が輝く北の創造都市の実現に向けて

皆さんこんにちは、熊谷です。きょうは八戸ロータリークラブの皆様の前で講話をする

熊谷 雄一さん

機会を頂戴いたしまして本当にありがとうございます。市長に就任いたしまして3年半以



上経過しました。毎年いろいろなところで講話をさせていただいていますが、今年度は今回が初めての講演になります。久々の講演ということで思い出しながら、というところもありますが、なるべく新年度の新しい取り組みを中心にご紹介したいと思っておりますので、ご清聴よろしくお願いたします。

本日はこのような順番でお話をさせていただきます。特に「令和7年度のまちづくり戦略」について詳しく述べさせていただきます。以前も申し上げましたが、八戸市にいろいろな計画があります。その中で総合計画が最上位にありまして、それに基づいていろんな事業が行われています。この総合計画は5年計画ですが、着実にこの計画を進めていくために毎年戦略を作っています。

これは総合計画将来都市像として「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」を八戸市は将来像として掲げています。以前、中里信夫元市長は「たくましい産業文化都市」を掲げておりましたが、やややり切っているかな。それに続くような将来像だと思っています。

ひと 市民ひとりひとりが輝く **産業** 産業として産業が輝く **文化** スポーツも含めてですが、それぞれが輝く北の創造都市。その中でやはり八戸の場合は産業都市でありますので、人口減少対策のことを考えましてもやはり産業が輝くというのがひと、文化スポーツの輝きに繋がるのではないかと考えています。産業政策に力を入れたいと考えています。

多様な産業が集積しているのが八戸の強みですが、その中でも伸びしろとしてまだまだ可能性があると思っっているのは観光産業です。実は先週、新しい観光産業プランを発表しました。柱は3つあります。「**食のまち八戸の推進**」「**種差の魅力向上**」「**インバウンド対応**」です。これらの取り組みをしながら、少し観光に力をいれていきたいと考えています。先ほど申し上げましたが、計画は5か年計画ですが、単年度ごとに戦略を作って、進めています。今は2025年の戦略に基づいて

取り組みをしていますが、まず毎年課題を出しています。物価燃料価格高騰など9つの課題を掲げていて、それに対応する戦略を掲げ、プロジェクトが貼りついて、そのプロジェクトに基づいていろんな事業が行われています。きょうはそのプロジェクトに基づく事業をいくつかご紹介させていただきます。

・「**八戸若者力形成インターシップ事業**」：八戸など地方都市にはいろんな課題があります。先ほど申し上げた物価資材高騰に加えて人材の確保も大きな課題になっています。昨年皆様のところにニーズ調査をしましたが、比較的新卒若手人員を確保できている企業はインターシップをやっていることが多いということがわかりました。一方で小規模、人が少ないところはインターシップの受け入れもなかなかできないということで、今年度小規模事業者でもインターシップできるようにコーディネーターを配置して支援をする事業を行うことにしました。具体的には今年の8月～9月の夏休みあたりに、今回はトライアルですので約10名くらいインターシップということで応募したいと考えています。

・人材確保対策として有効と思われ外国人の受け入れ。青森県の中でも八戸市は外国人材が一番多いのですが、それでもまだ6.8%なんです。外国人材を雇用しないという方、どちらともいえない方もいますが、まず制度そのものがよくわからない、どういふうに進めていかかわからない事業が多いので、今年度外国人受け入れセミナーを開催することにしました。外国人材をなるべく皆さんが活用できるような方向に持って行きたいと考えています。

・「**サンフェスHACHINOHE2025**」：地元の高校生、大学生が以外と地元の企業のことを知らない、PRは不足しているのではないかとあります。特に高校生など保護者の考え方に左右されることもあって、保護者あるいは学校の先生にも地元の企業のことをわかってもらうための事業を今年度少し統括することにしていきます。その一つとし

て9月28日に市庁前広場とY Sアリーナの前を活用しましてそれぞれの企業のPRや農畜産品の、地元の物産を地元の方々に知ってもらって、愛着を醸成する意味合いもありますが、そういう支援事業を行うことにしています。

・「**新産業工業団地整備**」：八戸北インター第2工業団地を造成していますが、昨年度から受付を開始しています。造成が終わる来年の4月から引き渡しをすることにしています。この北インター第2工業団地を活用しながら企業誘致を進めて参ります。

・「**水産**」：ご存じの通り、以前は水揚げ日本一を記録しておりました八戸港ですが、最近はずっと魚が獲れないという中で、そういう中でも水産の将来を展望目的で水産アカデミーを令和3年に設置しました。いろんな分野で調査研究をしています。「作り育てる漁業の専門部会」と今年度から「魚市場の今後の在り方専門部会」を設置して、この2つにいろいろな力を入れながらいろいろな取り組みを行っています。この水産アカデミーから生まれたのがブランディング事業。漁業者や料理手など若手が集まってブランディング事業をやっています。活メの仕方や梱包の仕方、輸送の仕方、最近では新幹線を活用していますが、そういうことをやりながら貴重な魚のブランディング、価値を高めて少し高く売っていくという取り組みも行っていきます。

そういう中で「作り育てる漁業の専門部会」からようやく産学官金、八戸市、八戸信用金庫、八戸工業大学、青森県栽培協会と連携を取りまして、島脇漁業の社名が出ていますが、ようやく陸上養殖が来月末からスタートします。魚はマツカワカレイ、ヒラメを想定していて、産学官金でまずモデル事業でやってみて、島脇さんには申し訳ないのですが、これが成功すればどんどん広げていきたい。八戸でも陸上養殖を広げていきたいと考えています。また、漁協を中心にカキの養殖も試験的に行っています。獲るだけではなく作り育てる漁業もこれから力を入れて行きます。

水産物卸売業支援事業ですが、3月議会のあたりにマスコミも賑わしましたが、船が魚を獲ってきて売るときの魚市場の手数料がこれまでは八戸は3%でしたが、それだと魚市場が赤字だということで1%上げて欲しいという要請を受けて、それを上げようとしたことが議会でいろいろ議論がありました。最終的には1%上げることにしましたが、その代わりに市もちゃんと支援をなささいという指摘を受けました。出入り使用料、水道使用料減免、運転資金の貸し付けなどを行うことにしました。生産、流通、加工とありますが、その要が魚市場ですので、この魚市場の再建を図りながら水産業界全体の再生につなげていきたいというふうに考えています。先ほど水産アカデミーのところで出た「魚市場の今後の在り方専門部会」はまさにこういうことをやりながら、魚市場の在り方を水産業界全体で検討していこうということで設置しました。

・**エネルギーの話**：カーボンニュートラル要請に応えるべく、八戸の場合は産業都市、CO₂排出がひじょうに大きいわけです。これを次世代まで持続的につなげていくためにやはり新しいエネルギーの導入も考えていかなければならないだろう。ということで今年4月に「次世代エネルギー導入推進室」を設置しました。具体的には水素やアンモニア導入を想定していますが、それにはとらわれず、とにかくカーボンニュートラルに対応できるような次世代に向けたビジョンを今年度中に策定する予定です。今、各企業のヒアリングや先進地視察をしています。2040~50年というかなり先の話でチャレンジングな話です。



が、しかし次世代に向けてこういう取り組みも推進していきたいと考えています。

もっと身近な話として、「省エネ設備導入等推進事業」を昨年度から実施しています。一般住宅向けの省エネ設備導入支援、断熱リフォーム支援、事業者向けには省エネ設備導入支援等、省エネの診断受診の支援を行いながらカーボンニュートラルの取り組みを進めています。

・**中心街の話**：皆さま方も気にかけておられると思いますが、チーノの跡地の再開発事業を進めてきましたが、ようやく先が見えてきました。来年春にマンション街と立体駐車場が1棟建ちます。来年夏にはホテルが1棟建ちまして、その1階部分に物販が入る予定になっています。再開発事業を進めると同時に中心街ストリートデザイン事業、国道345号を簡単にいえば歩道を広げて、多様な人の交流が生まれる空間。歩いて楽しめる、いろんなイベントができるような、店が出せるような空間にしようというビジョンはできています。今年度から検討協議をしながら具体的な事業につなげることにしています。

・**こどもの声を聞く機会創出事業**：ここ数年かなりの子育て支援は充実させてきたつもりです。例えば、経済的支援でいいますと、県との連携になりましたが学校給食費の無償化、昨年10月から18才以下医療費完全無償化をしています。それに加えてこどもの聞く、こどもの声を市政に反映させていく。こどもモニター制度は小学校5年生から高校3年生まで100人選びまして、いろんな市政に対する意見を聞いています。先日も今年度委嘱状を交付しましたが、100人の定員に137名の申し込みがありました。こどもたちにもいろいろ市政のことに興味を持っていただいています。

こどもまちなかIT部は中心街にこどもの部室を設けてまちなかIT部と称してホームページを作製してもらって、こどもの情報をそこから発信しています。これらの取り組みは確かにこどもの意見を市政に反映させるという目的もあるのですが、もう一つ、こうい

う取り組みを通じて八戸のことにこどもたちがより関心をもって、愛着の醸成につなげていきたい。そういう目的で実施しています。

はちのへ公園のこどもの国に大型遊具を設置しています。これは保護者の方から八戸は外で遊べる空間が少ないという指摘を受けまして、こどもの国にここ数年設置してきました。まだ完全ではありませんが、あと2年かけて完成することにしています。特徴的なのはインクルージングゾーンという障害のあるお子さんも遊べるような整備もしています。

・**八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議**：人口減少はどここの地方都市でも大きな課題となっています。要因は2つです。1つは少子化。もう一つは若者、特に女性がどうしても地方から都市圏に流出してしまう。そこを止めるために、じゃ若者にとって魅力あるまちづくりは何だろう。そのことを意見交換し、八戸市に提言していただく。提言を受けるだけでなく実際に市の職員と意見交換をした上で事業化につなげています。令和7年度も19の事業を事業化しています。こういうことをやりながら、若者や女性の意見を取り入れ、若者と女性に寄り添ったまちづくりを進めています。

・**産学官連携推進事業**：八戸市には八戸工業大学、八戸学院大学、八戸学院短期学部、八戸高専の4つの高等教育機関がありますが、そこと八戸商工会議所とわれわれと連携していろんな事業をやっています。令和7年度は一番目に八戸地域学。これは学生に八戸のことを学んでもらうための地域学で、一昨年から取り組んでいます。今年度も実施します。2番目は八戸若者による形成インターンシップ、市内高等教育間のPR事業、先程ご紹介した外国人受け入れセミナー。これらの事業は産学官連携の会議の中から生まれて来た事業です。工業大学、学院大学とも新学長になられていますので、今後もこの連携を強化していきます。

・**八戸市超帰省応援事業**：皆さんのお子さんやお孫さんにも八戸から都市圏に行って、

例えば連休や夏休みに帰ってこられると思いますが、その時に一人ではなく友だち、知り合いを連れて帰ってきた場合にはクーポン券を発行して知り合いの方にいろいろ八戸を体験してもらおう。その代わりに体験したことをSNSで発信してもらって、県外の方に八戸の魅力を伝えていく事業です。ちょっとわかりづらいかもしれませんが。

これも先ほどの八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議から出された事業です。面白そうだからやってみようかということで今回トライアルでやることにしました。最近、石破内閣で関係人口ということが時々出てくるのをお気づきかもしれませんが、交流人口とかそれ一択ではなく、八戸のことを応援してくれる人たちをどんどん増やしていくのを関係人口と呼んでいます。その取り組みの入り口として挑戦してみたいと思っています。

・**高校生による地元企業魅力発見体験事業**：先ほどの話に戻りますが、やはり人材確保に向けて一昨年からやっている取り組みです。きょうお集まりの皆さんの企業にももしかしたらご協力いただいているかも知れませんが、企業の中に高校生が行きまして、いろいろ事業を見させていただいたり、従業員にもインタビューしながら、最終的にはその高校生が行った企業のPRをする。そういう取り組みをしながら、高校生に市内の企業の魅力について知ってもらって最終的には就職につなげれば。この取り組みを一昨年からやっています。やっていただいた企業からはたいへん好評をいただいています。

・**市長との公民館サロン**：大型公共施設が中心街にあって、これはこれでいいのですが、やはり市民の方々からは自分たちのまわりの公園や道路もちゃんと整備してくれという意見がけっこう聞かれるようになりました。そこでわたしは公民館単位の各地域の課題を出してもらって、その現場を見た上で地域住民と意見交換をし、解決できるものは解決する取り組みをしています。2年かかってすべての公民館を回りました。昨年度からは公正で手を挙げたところで意見交換をしながら、地

域課題の解決につなげています。

皆さんも地域に帰れば町内会などあると思いますが、いろんな課題がそれぞれあると思いますが、共通しているのは町内会の担い手が不足しているということで、それを支援するためなどの交付金を使っています。やはり地域のコミュニティをどう維持していくかということも地方都市にとっては大きな課題となっております。その対策を維持しているところです。

・**電子図書館**：本のまちとしていろいろな取り組みをしていますが、全国でだんだん電子図書館を導入している都市が増えてきています。八戸市も今年の秋くらいになると思いますが、この電子図書館を導入するというところで今準備をしています。

・**今年のトピック**：

・**八戸十和田トレイル試験開通**：これは環境省の事業です。八戸から福島県相馬市まで進んでいるみちのく潮風トレイルは去年開通5周年を迎えました。そちらはご存じだと思います。今度は八戸から十和田湖までのトレイルを結ぶということで、今年の4月から環境省がこの事業をスタートしています。起点が八戸駅になっていて、これが結ばれますと八戸が2つのトレイルの結節点になるということで、インバウンド（外国人観光客）が歩くということで八戸に来ていただいています。この2つの結節点になることで、また新たな観光振興につながるのではないかと、いろいろ計画をしているところです。

・**児童科学館プラネタリウム**：類家にあります児童科学館は八戸市だけでなく周辺の町村の子どもたちも来ていただいているたいへん人気のある場所ですが、デジタル化を進めるということで全面改修を考えています。今、国に対して予算要求をしていますが、取り敢えず先行する形でプラネタリウムを5月2日にリニューアルしました。東北では有数の内容だと言われているので、大人でも楽しめるような空間になっていますが、ぜひお子さんお孫さんをお連れして、こちらの方にも足を運んでいただければと思います。

・**青の煌めきあおもり国スポ障スポ**：これは前の国体です。これは来年49年ぶりに青森県で開催されます。サッカー、バスケットボール、レスリング、自転車、ソフトボール、ラグビー、冬季ではスケート、アイスホッケーが予定されています。今年度からリハーサル大会をスタートして多くの方に来ていただけるのではないかと期待しています。ぜひこちらのほうも足を運んでいただければと思います。

・**美術館**：先ほど申し上げましたが、中心街に大型公共施設がたくさんできる中で、せっかく作った大型公共施設を有効活用しようということで、市民の方々に改めてそれぞれの大型公共施設を活用状況や経費がどのくらいかかっているか、収入はどのくらいかかっているか、もともとどういう目的で設置したのかをホームページで見える化をして、そのうえでアンケートを取って、その結果に基づいて大型公共施設の使い方をいろいろ工夫しています。

最初は美術館もいろいろ言われたり、バスケットボールをやったりしていろいろなご意見をいただきましたが、最近ではあまり批判的なご意見はいただかなくなっています。今は浮世絵展をやっていて、ひじょうに好評です。6月28日からポケモン工芸展を開催します。これは全国的にひじょうに人気のあるもので、今年の1月に秋篠家の佳子様も東京でご覧になってたいへんお喜びになったというニュー

スが報道されていきました。北海道東北では初めての開催で、わたし共の見立てでは恐らく八戸美術館オープン以来最高の入りになるのではないかと期待しています。ぜひこちらのほうも足を運んでいただければと思います。

これらの取り組みを着実に進めて、輝く未来を切り拓いて参ります。時間の関係の触れることのできなかったものがいくつかあります。例えば**新体育館の整備**も今着々と進めています。予算の関係もありますが、できれば来年には具体的な着工に向けて準備を進めているところです。**デジタル化**につきましても、推進計画に基づいて取り組みを進めています。市役所窓口が去年の10月から変わりました。マイナンバーカードを持ってきていただければ書かなくてもいい、待たなくてもいい。決済をやっていただければ行かなくてもいい。これを今度は事業者の皆様の申請をそういう形にしようということで取り組みを進めています。デジタル化もどんどん進めていきます。

いろいろな取り組みをしながら八戸の今と未来に責任を持つ市政運営を担って参ります。ロータリークラブの皆様におかれましては、今後とも忌憚のないご意見をいただきながら市政にご協力を賜りますようお願い申し上げます。わたしの話を閉じさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

橋本会長：熊谷市長、まことにありがとうございました。

出席報告						出席委員会		
第3354回例会（5月28日）			第3352回例会（5月14日）					
出席率		58.5%	出席率		52.2%	修正出席率	55.2%	
総会員数		68名	出席数		38名	メイクアップした人数		2名
出席義務会員	出席免除会員	欠席数	出席義務会員	出席免除会員	欠席数			
65名	3名	27名	67名	1名	30名			